

『ボッチャ』を知ろう!!

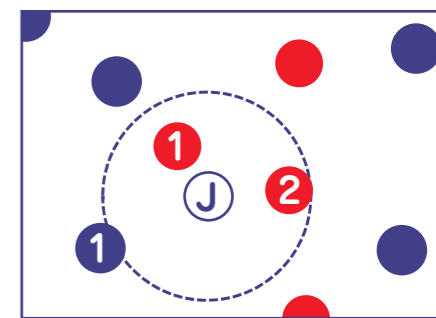
- ヨーロッパでは古くから、ボールを投げたり転がしたりして玉(まどたま)に近づくことを競う競技が盛んで、フランスのペタンクやイギリスのローン・ボウリングなどが有名です。こうしたボール競技を、運動機能に障害のある人たちでも行えるように、用具やルールを工夫して生まれたのがボッチャ(イタリア語で「ボール」)です。ボッチャは東京2020パラリンピック大会でも正式競技種目に採用されています。
- 鉄や木の堅いボールではなく、誰でも扱いやすいように柔らかい革製やフェルト製のボールが使われます。手で投げるのが難しい場合には、写真のように「ランプ」と呼ばれる傾斜つきの補助具を使って競技ができます。
- 個人戦・ペア戦(2人对2人)・チーム戦(3人对3人)がありますが、接触プレーがなく、パワーや技術・正確さ・戦略の立て方など、参加者のいろいろな特色を活かせる競技なので、障害の有無・男女差・年齢差にかかわらず楽しむことができます。公式競技では障害の程度に応じたクラス分けがなされます。



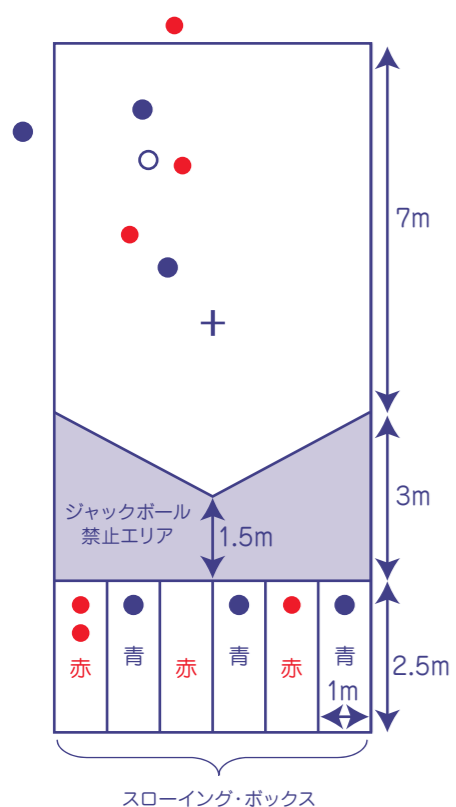
『ボッチャ』の得点計算方法は??

カーリングと同じ方法です。

- ・エンドの全ての投球が終わった時点で右図のような状況だった場合、ジャックボール①に近い順に赤①、赤②、青①なので、このエンドの得点は(赤)2-0(青)。
- ・もしもジャックボールが一番近い赤と青のボールがジャックボールから同距離の場合は(赤)1-1(青)の同点。
- ・各エンドの得点を合計した総得点で勝敗が決まります。



『ボッチャ』をやってみよう!! チーム戦(3人对3人)の場合



選手はコート端の各自のスローイング・ボックス内から投球します。チーム戦の場合、各選手は2回投球ができます。

- ① 先攻=赤チームがジャックボール(白的玉)を投球。コート内のジャックボール禁止エリア(左図の■の部分)に止まるか、コート外に出てしまったら、今度は青チームがジャックボールを投げます。
- ② ジャックボールを最初にコート内の有効なエリアに止めたのが赤チームのAさんなら、続けて赤チームのAさんが一投目を投げます。
- ③ 次に青チームが一投目を投球。
- ④ これ以降は、ジャックボールが一番近いボールとは違う色のチームが投球。同じチーム内ではどんな順番で投球してもかまいません。
- ⑤ ジャックボールに当てて動かしてもOKですが、ジャックボールがコート外に出てしまったら、中央のクロス・マークの位置に戻されます。
- ⑥ 直接あるいは他のボールにぶつかってコート外に出てしまった赤や青のボールは無効となり、得点集計の対象になりません。
- ⑦ 両チームが6回ずつの投球を終えたところでエンドの得点集計。
- ⑧ 6エンド(個人戦やペア戦では4エンド)の得点合計で勝敗決定。

『ボッチャ』を体験してみても……

ボッチャのボールは実際に持ってみると思ったより重く、ずっしりと手ごたえがあります。

丸いボールだけれど柔らかいので、慣れないとなかなか思ったところに転がっていきにくいです。

ジャックボールを最初に近くに置くか遠くに置くかも、試合運びの重要な要素です。パワー重視か、それとも正確なコントロール重視か…チームのカラーと戦略の見せ所です。

ナイス・プレーだけでなく、思いがけない同士討ちや敵失で形勢逆転が起こるので、最後まで勝敗の行方が分からない面白さがあります。素人には素人の、名人には名人の楽しみ方があるようです。

☆☆☆☆☆ 研修会で指導して下さった東京都障害者スポーツ協会の皆様、有難うございました。☆☆☆☆☆

ボッチャは障害者向けに考案された競技ですが、始めたら誰でも熱くなってしまう要素がたくさん詰まった、とても面白いスポーツです。実際にやってみればパラリンピアン達の凄さが実感できますし、純粋にスポーツとしても楽しむことができます。皆さんも、機会があれば是非、プレーしてみてください!

障害者スポーツ体験会

障害者スポーツ体験会は中央区事業の一環として平成25年7月から年2回のペースで開催されています。

本年7月15日(土)に区立総合スポーツセンター主競技場にて通算9回目の体験会が行われ、付き添いの方も合わせて50人ほどの皆さんが参加されました。2時間ほどの時間でしたが、今回特集したボッチャをはじめ、ラケットテニスやラダーゲッター、ストラックアウト、ガラッキー、バグゴ、スポーツ吹き矢、ハンドアーチェリーなどのいろいろな種目を順番に体験され、皆さんそれぞれのやり方でスポーツを楽しんでいました。



体験会のお手伝いをしている私たちスポーツ推進委員も、毎回参加される方たちとの再会がうれしく、また笑顔でスポーツをされる参加者の皆さんとの交流から元気をもらいました。

特に今回から「東京2020公認プログラム」としての認証を得て、東京パラリンピックの公式エンブレムを描いた横断幕が張られる中、サポートする立場の私たちとしてもさらに力が入っています。

次回の体験会は本年11月25日(土)に予定されています。

